

5 がんの早期発見 (1) がん検診の受診促進

■「がんの早期発見」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)  
 ○県民が検診の重要性を理解し、受診する。また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になる。  
 ○上記の目標を達成するため、県内で効果の高い検診が実施されている。

分野別進捗状況点検シート  
 5 がんの早期発見 (1) がんの早期発見  
 ①がん検診の受診促進

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実績			個別施策の指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
がん検診受診勧奨キャンペーン等の実施	・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会の開催、会員による街頭啓発キャンペーン実施(H25.10.10)	(H26.10.10)	(H27.10.10)						
広報紙、インターネット、マスメディア等を活用した情報発信	・県民だよりや奈良新聞等での啓発記事掲載、HPでの情報発信、がん検診のキャッチフレーズ等啓発ツール作成	・県民だよりや奈良新聞等での啓発記事掲載、HPでの情報発信、がん検診のキャッチフレーズ等啓発ツールの更新							
「がん検診を受けよう」奈良県民会議の開催	・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会の開催、会員による街頭啓発キャンペーン実施(H25.10.10)	・「がん検診を受けよう」奈良県民会議でがん検診受診の重要性について普及啓発(H26.10.10)	・「がん検診を受けよう」奈良県民会議でがん検診受診の重要性について普及啓発(H27.10.10)						
企業と連携した(奈良県がん検診応援団)がん検診受診啓発	・奈良県がん検診応援団会議や「がん検診を受けよう！」奈良県民会議での意見交換や受診率向上対策の検討 ・職域でのがん検診意識調査の実施(H25.6)	・奈良県がん検診応援団会議や「がん検診を受けよう！」奈良県民会議での意見交換や受診率向上対策の検討		がん検診の受診率 胃・肺・大腸・子宮頸・乳 (40歳～69歳 子宮頸20歳～69歳)	<胃29.3%> <肺20.2%> <大腸24.7%> <子宮35.7%> <乳35.7%> (H22)	全がん 50% (H29)	胃37.2% 肺35.5% 大腸35.8% 子宮39.4% 乳39.2% (H25)	増加	(30)
市町村への受診率向上に向けた取組(コール・リコール等)の支援	・個別勧奨・再勧奨モデル事業実施(生駒市・葛城市) ・モデル市町村情報交換会の実施(H25.10) ・個別勧奨・再勧奨モデル事業効果検証中間報告会(H26.3)	・(新)健康寿命を延長する取組推進モデル事業の実施 ・がん検診受診率向上にむけた取組を伴う4市町に委託し、モデル事業を実施 ・受診勧奨・再勧奨モデル事業の効果検証報告	・がん検診個別受診勧奨・未受診者再勧奨の成果について県内全市町村で共有するための報告会の開催 ・9モデル市町でがん検診個別受診勧奨・未受診者再勧奨等 ・がん検診個別受診勧奨・未受診者再勧奨に取り組み市町村を支援するための補助制度を創設(H28～H30)						
がん予防推進員の養成	・がん予防推進員養成講座の実施(王寺町)	・各保健所と管内市町村が連携・協働し養成講座を実施(天理市・香芝市・下市町)	・各保健所と管内市町村が連携・協働し養成講座を実施(三郷町・高取町)						

○目標(主に中間評価の時点で協議会で設定した目標)の進捗状況

目標	指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
がん検診受診率50%	がん検診の受診率 胃・肺・大腸・子宮頸・乳 (40歳～69歳 子宮頸20歳～69歳)	<胃29.3%> <肺20.2%> <大腸24.7%> <子宮35.7%> <乳35.7%> (H22)	全がん 50% (H29)	胃37.2% 肺35.5% 大腸35.8% 子宮39.4% 乳39.2% (H25)	増加	(30)

がん検診の受診促進 進捗状況概要	<p><b>○がん検診の受診促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度～27年度までモデル事業として実施したがん検診個別受診勧奨・再勧奨事業は、すべてのがん検診で受診者数が増加。受診率向上に効果があることが確認された。</li> <li>県のモデル事業としてがん検診個別受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村は、平成25年度2市、平成26年度3市町、平成27年度9市町。</li> <li>「がん検診を受けよう！」奈良県民会議は、平成24年度の設立以来、毎年10月10日の「奈良県がんと向き合う日」に開催。がん検診受診の重要性について啓発し、がん検診受の機運醸成を図っている。</li> </ul> <p><b>(がん予防対策推進委員会からの意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「がん検診受診率」は、5つのがんとも上昇しているが、全国と比較すると5つのがんとも低い状況であり、一層の受診率向上対策を講じる必要がある。</li> <li>今後は、がん検診の個別受診勧奨・再勧奨を、すべての市町村が取り組めるよう、強力に支援することが重要。</li> </ul>
---------------------	--

54 指標について  
気づいた点

## 5 がんの早期発見 (2) 検診精度の向上

■「がんの早期発見」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)

○県民が検診の重要性を理解し、受診する。また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になる。

○上記の目標を達成するため、県内で効果の高い検診が実施されている。

分野別進捗状況点検シート  
5 がんの早期発見 (1)がんの早期発見  
②検診精度の向上

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実 績			個別施策の指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
がん検診従事者の資質向上のための研修会の開催	・肺がん検診・胃がん検診従事者研修会	・胃がん検診・肺がん検診、大腸がん検診従事者研修会実施	・胃がん検診・肺がん検診、大腸がん検診・乳がん検診従事者研修会実施	精密検査受診率 胃・肺・大腸・子宮頸・乳	<胃70.4%> <肺85.9%> <大腸66.4%> <子宮61.8%> <乳85.2%> (H22度)	90%以上 (H29度)	胃84.3% 肺88.2% 大腸68.7% 子宮84.1% 乳92.8% (H26度)	増加	(29)
がん検診精度管理調査の実施・公表・指導	・がん検診精度管理調査の実施及び公表(HP掲載) ・精密検査登録医療機関の現況調査	・がん検診精度管理調査の実施と公表 ・精度管理に関する研修会実施	・がん検診精度管理調査の実施と公表 ・精度管理に関する研修会実施						

○目標(主に中間評価の時点で協議会で設定した目標)の進捗状況

目 標	指 標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
精密検査受診率90%以上	精密検査受診率 胃・肺・大腸・子宮頸・乳	<胃70.4%> <肺85.9%> <大腸66.4%> <子宮61.8%> <乳85.2%> (H22度)	90%以上 (H29度)	胃84.3% 肺88.2% 大腸68.7% 子宮84.1% 乳92.8% (H26度)	増加	(29)

検診精度の向上 進捗状況概要	<p><b>○検診精度の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の精度管理は、市町村、集団検診機関に対して精度管理を実施している。</li> <li>・「精密検査受診率」は、計画策定時と比較すると、5つのがんとも上昇している。特に、乳がん検診の精密検査受診率は90%を超え、目標を達成している状況。一方、大腸がん検診の精密検査受診率は他の4つのがんに比べ低い。</li> <li>・平成27年度は、胃がん・肺がん検診の従事者研修会に加え、大腸がん・乳がん検診の従事者研修会も開催した。</li> </ul> <p><b>(がん予防対策推進委員会からの意見)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、個別検診機関の精度管理についても取り組む必要がある。</li> <li>・精度の高い検診が実施できるよう、引き続き従事者への研修会を実施することが重要。</li> </ul>
-------------------	---

指標について 気づいた点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、がん検診の精度管理の一環として精密検査受診率だけでなく、陽性的中率、がん発見率、精密検査受診状況の把握率等も把握しているため、今後指標に加えることについて検討が必要。</li> </ul>
-----------------	--

5 がんの早期発見 (1)がんの早期発見  
③石綿の健康影響に対する対策

■「がんの早期発見」の目指す姿■(第2期計画策定時に設定した目指す姿)  
○県民が検診の重要性を理解し、受診している。また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になっている。  
○上記目標を達成するため、県内で効果の高い検診が実施されている。

分野別進捗状況点検シート  
5 がんの早期発見 (1)がんの早期発見  
③石綿の健康影響に対する対策

○目標のために取り組んだこと(個別施策)の進捗状況

●は中間評価のために追加した指標

主な取組	実 績			個別施策の指標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定含む)						
対象者への広報	・県民だより、県ホームページによる広報 ・チラシの全戸配布 [玉寺町・斑鳩町]		・奈良テレビによる広報 ・石綿講習会の開催	石綿ばく露健康リスク調査 件数	<456件> (H22)	増加	625件 (H25)	増加	(35)
保健所での相談実施	・全保健所 69件	・全保健所 53件	・全保健所 25件 (4月～1月)						
アスベスト検診従事者研修会の開催	・健康リスク調査によるXP、CT検査の実施 ・石綿健康被害救済制度による保健所等担当者説明会 参加者:保健所・県担当者		・石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査によるCT検査及び保健指導講習会 参加者:県担当者						

○目標(主に中間評価の時点で協議会で設定した目標)の進捗状況

目 標	指 標	参考値 <計画策定時基準値>	計画策定時 目標値	最新値	進捗状況	備考 (出典No)
がん検診受診率50%	がん検診の受診率 胃・肺・大腸・子宮頸・乳 (40歳～69歳 子宮頸20歳～69歳)	<胃29.3%> <肺20.2%> <大腸24.7%> <子宮35.7%> <乳35.7%> (H22)	全がん 50% (H29)	胃37.2% 肺35.5% 大腸35.8% 子宮39.2% 乳35.7% (H25)	増加	(29)

石綿の健康影響に対する対策 進捗状況概要	○石綿の健康影響に対する対策 ・国(環境省)の委託事業である「石綿の健康リスク調査」や「試行調査における胸部CT検査」を実施。 ・調査件数は増加したが、引き続き該当する県民に不安の解消に努めていく。
-------------------------	---

指標について 気づいた点	
-----------------	--